

令和7年度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅰ)

注意事項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 氏名、受験番号を「令和7年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号をマークしてください。
4. 「解答カード」の中で、特に受験番号の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て「解答カード」の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから70分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例)
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例)

問 1 次の各文は、我が国の教科書に関わる歴史上の出来事である。年代の古いものから順に配列して3番目に当たるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の成立によって、教科書の無償給付が開始された。
- イ 教科書から戦時教材や極端な国家主義的教材等が削除され、墨を塗ったり、一部を切り取つたりした教科書が使用された。
- ウ 教科書疑獄事件をきっかけに、国定教科書制度が導入された。
- エ 学習指導要領を基準とした、教科書の検定制度が導入された。

問 2 次の各文は、20世紀半ばのアメリカの教育に関する記述である。年代の古いものから順に配列して3番目に当たるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ブルーナー(Bruner, J.S.)による著書『教育の過程』は、日本に「教育内容の現代化」をもたらした。
- イ 報告書『危機に立つ国家』は、レーガン大統領が主導する教育改革の根拠となった。
- ウ 児童の自発性や経験、個性を重視するデューイ(Dewey, J.)の進歩主義教育運動は、日本にも大きな影響を与えた。
- エ ヴァージニア州の教育委員会が作成したヴァージニア・プランは、日本最初の「学習指導要領社会科編」に大きな影響を与えた。

問 3 次の各文章は、教育史上著名な女性による教育思想や教育実践について述べたものである。エレン・ケイ(Key, E.)に関して述べたものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 従来の暗記中心の教育方法を批判し、子供の自主性を尊重した個別学習方式を取り入れたドルトン・プランを1920年に実施した。大正期に日本にも紹介され、実践された。
- イ 1907年に設立された「児童の家」における教育実践の経験から、幼児期の感覚教育のための方法と教具を開発した。日本の幼児教育にも影響を与えている。
- ウ 1900年に刊行された『児童の世紀』は、子供の主体性と母性の回復を主張するもので、世界中に大きな反響を巻き起こし、日本の大正新教育運動にも影響を与えた。
- エ 1917年に刊行された『国民教育と民主主義』は、「教育と労働の結合」「総合技術教育」などの原則を打ち出したもので、マルクス主義による最初の教育思想史である。

問 4 次の①～④の文章は、江戸時代に各地でつくられた私塾(学問塾)に関する記述である。各文章と関わりの深い人物名の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 1838(天保9)年に大阪で開設した蘭学塾である。医学、兵学などを学ぶ門人は、身分に関わりなく全国から集まり、徹底した原書主義と実力主義が貫かれた教育が行われた。大村益次郎や福沢諭吉などを育てた。
- ② 1824(文政7)年に長崎郊外で開設した医学私塾兼診療所である。西洋医学や自然科学を教え、高野長英や伊東玄朴などを育てた。
- ③ 豊後国(大分県)日田で開設した私塾である。入門者の年齢・身分・学歴を問わない「三奪法」と、「月旦評」という成績による実力主義に特徴がある。3,000人を超える門人を育てた。
- ④ 叔父が長門国(山口県)萩で設立した学問塾を引き継ぎ、主宰した。身分を問わない平等主義的な態度で、一人一人の個性を伸ばすことに特徴がある。高杉晋作、木戸孝允、伊藤博文などを育てた。

①	②	③	④
ア 吉田松陰	緒方洪庵	広瀬淡窓	シーボルト
イ 緒方洪庵	シーボルト	広瀬淡窓	吉田松陰
ウ 緒方洪庵	広瀬淡窓	吉田松陰	シーボルト
エ 広瀬淡窓	シーボルト	緒方洪庵	吉田松陰

問 5 次の各文は、「教育基本法」(平成18年法律第120号)からの抜粋である。文中の下線部の内容に誤りのあるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。
- イ 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。
- ウ 法律に定める学校は、建学の自由を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。
- エ 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

問 6 次の各文章は、「学校教育法」(昭和 22 年法律第 26 号)からの抜粋である。文章中の下線部の内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア この法律で、学校とは、保育所、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。
- イ 市町村教育委員会は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。
- ウ 小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。
- エ 都道府県は、その区域内にある学齢児童を就学させるに必要な小学校を設置しなければならない。

問 7 次の各文は、「地方公務員法」(昭和 25 年法律第 261 号)及び「教育公務員特例法」(昭和 24 年法律第 1 号)からの抜粋である。文中の空欄 ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【地方公務員法】

第 33 条 職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の ① となるような行為をしてはならない。

第 35 条 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の ② のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。

【教育公務員特例法】

第 21 条第 1 項 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず ③ に努めなければならない。

第 22 条第 2 項 教員は、授業に支障のない限り、④ の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。

① ② ③ ④

- ア 不名誉 集中力 研鑽と修業 任命権者
- イ 不名誉 注意力 研究と修養 本属長
- ウ 信用失墜 集中力 研究と修養 任命権者
- エ 信用失墜 注意力 研鑽と修業 本属長

問 8 次の文は、「こども基本法」(令和4年法律第77号)からの抜粋である。文中の空欄 ①
～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(基本理念)

第3条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

一 全てのこどもについて、個人として尊重され、その ① が保障されるとともに、差別的取扱いを受けることがないようにすること。

二 全てのこどもについて、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され保護されること、その健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法(平成十八年法律第百二十号)の精神にのっとり ② が等しく与えられること。

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して ③ 及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その ④ が優先して考慮されること。

五 子どもの養育については、家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、これらの者に対して子どもの養育に関し十分な支援を行うとともに、家庭での養育が困難なこどもにはできる限り家庭と同様の養育環境を確保することにより、こどもが心身ともに健やかに育成されるようにすること。

六 家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる社会環境を整備すること。

- | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|----------|-----------|-------------|
| ア 学問の自由 | 教育を受ける機会 | 権利を委任する機会 | 生命に対する固有の権利 |
| イ 基本人権 | 能力に応じた教育 | 権利を委任する機会 | 最善の利益 |
| ウ 学問の自由 | 能力に応じた教育 | 意見を表明する機会 | 生命に対する固有の権利 |
| エ 基本人権 | 教育を受ける機会 | 意見を表明する機会 | 最善の利益 |

問9 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第1章 総則 第2 教育課程の編成」の「4 学校段階等間の接続」の一部である。文章中の空欄 [①] ~ [④] に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

低学年における教育全体において、例えば [①] において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての [②] を通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、[①] を中心に、[③] な指導や [④] な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

- | | | | |
|-------------|----|---------|-----|
| ① | ② | ③ | ④ |
| ア 総合的な学習の時間 | 学び | 教科横断的 | 体系的 |
| イ 生活科 | 遊び | 教科横断的 | 体系的 |
| ウ 総合的な学習の時間 | 学び | 合科的・関連的 | 弾力的 |
| エ 生活科 | 遊び | 合科的・関連的 | 弾力的 |

問10 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第1章 総則 第4 児童の発達の支援」の「1 児童の発達を支える指導の充実」の一部である。文章中の空欄 [①] ~ [④] に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学習や生活の基盤として、教師と児童との [①] 及び児童相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から [②] の充実を図ること。また、主に集団の場面で必要な指導や援助を行う [③] と、個々の児童の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行う [④] の双方により、児童の発達を支援すること。

- | | | | |
|---------|------|---------|---------|
| ① | ② | ③ | ④ |
| ア 信頼関係 | 学級経営 | ガイダンス | カウンセリング |
| イ 教育的関係 | 学級経営 | カウンセリング | ガイダンス |
| ウ 信頼関係 | 生活指導 | カウンセリング | ガイダンス |
| エ 教育的関係 | 生活指導 | ガイダンス | カウンセリング |

問11 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第5章 総合的な学習の時間 第1 目標」の一部である。文章中の空欄 ① ~ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

① 的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、② を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) ① 的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、① 的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から③ を見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。
- (3) ① 的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に④ に参画しようとする態度を養う。

① ② ③ ④

- | | | | |
|------|--------|-------|----|
| ア 探究 | 自己の生き方 | 問い合わせ | 社会 |
| イ 探究 | 社会のあり方 | 答え | 地域 |
| ウ 創造 | 自己の生き方 | 答え | 社会 |
| エ 創造 | 社会のあり方 | 問い合わせ | 地域 |

問12 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第3章 特別の教科 道徳 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文章中の空欄 ① ~ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教材については、教育基本法や学校教育法その他の法令に従い、次の観点に照らし適切と判断されるものであること。

- ア 児童の ① に即し、ねらいを達成するのにふさわしいものであること。
イ ② にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができ、③ としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるものであること。
ウ 多様な見方や考え方のできる事柄を取り扱う場合には、④ 取扱いがなされていないものであること。

①	②	③	④
ア 年齢	国や故郷を愛する態度	国民	特定の見方や考え方へ偏った
イ 発達の段階	人間尊重の精神	人間	特定の見方や考え方へ偏った
ウ 発達の段階	国や故郷を愛する態度	国民	答えはないという相対主義的な
エ 年齢	人間尊重の精神	人間	答えはないという相対主義的な

問13 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第6章 特別活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文中の空欄 ① ~ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

① による交流を重視するとともに、幼児、高齢者、② 人々などとの交流や③ 、④ 幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を通して、協働することや、他者の役に立ったり社会に貢献したりすることの④ を得られる活動を充実すること。

①	②	③	④
ア 年齢集団	多様な	対話	やりがい
イ 年齢集団	障害のある	討論	喜び
ウ 異年齢集団	多様な	討論	やりがい
エ 異年齢集団	障害のある	対話	喜び

問14 『生徒指導提要』(令和4年12月文部科学省)の「第1章 生徒指導の基礎 1.2 生徒指導の構造」で示された内容の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 発達支持的生徒指導は、特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤である。
- ② 課題未然防止教育は、成績が急落したり、遅刻・早退・欠席が増加したりした児童生徒を対象に、生徒指導の諸課題の未然防止をねらいとした、意図的・組織的・系統的な教育プログラムの実施である。
- ③ 課題早期発見対応では、課題の予兆行動が見られたり、問題行動のリスクが高まったりするなど、気になる一部の児童生徒を対象に、深刻な問題に発展しないように、初期の段階で諸課題を発見し、対応する。
- ④ 困難課題対応的生徒指導は、いじめ、不登校、少年非行、児童虐待など特別な指導・援助を必要とする特定の児童生徒を対象に、個人情報保護の観点から校内の教職員(教員、SC、SSW等)が中心となり個別対応、学校単独で対応する。

- ア ①③
- イ ①④
- ウ ②③
- エ ②④

問15 注意欠如・多動性障害(ADHD)の特徴に関する説明として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 課題や活動に必要な用具等をよくなくす。
- イ 課題や活動を順序立てて行うことが難しい。
- ウ 精神的努力の持続をする課題に没頭し過ぎる。
- エ 他の人がしていることを遮ったり、邪魔したりする。

問16 ピアジェ(Piaget, J.)の道徳的判断に関する説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 8, 9歳を境に、他律的段階から自律的段階へと発達する。
- イ 8, 9歳を境に、自律的段階から他律的段階へと発達する。
- ウ 12, 13歳を境に、他律的段階から自律的段階へと発達する。
- エ 12, 13歳を境に、自律的段階から他律的段階へと発達する。

問17 学習意欲に関する説明として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア レッパー(Lepper, M.R.)らは、内発的動機付けに基づく行動に外的報酬を与えることを予告することで、内発的動機付けを増大させる効果があるとしている。
- イ エイブラムソン(Abramson, L.Y.)らは、原因帰属の考え方を導入し、自分がコントロールできない失敗事態の原因を内的要因、安定的要因、一般的要因に帰属するほど「学習性無力感」が生じやすいとしている。
- ウ ドゥエック(Dweck, C.S.)は、目標を「学習目標(習熟目標、熟達目標)」と「遂行目標(成績目標)」に大別し、学習目標の志向性が高い場合は、自身の能力への自信の高低にかかわらず、難しい課題に根気よく取り組めるとしている。
- エ セリグマン(Seligman, M.E.P.)らは、回避できない状況で電気ショックを与えられ続けたイヌが無気力状態に陥り、その後の回避や逃避の訓練で成績が悪いことを見出し、その無気力状態を「学習性無力感」と呼んだ。

問18 記憶に関する用語とその説明の組合せとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 精緻化 ————— 情報に意味を持たせて符号化する記憶方略
- イ 初頭効果 ————— 記憶の系列位置効果のうち、最初に記憶したもののが記憶成績が良いこと
- ウ レミニセンス ————— 学習直後より一定時間経過後の方が、記憶成績が良いこと
- エ 記録 ————— 物事を覚えておくこと

問19 次の文章は、あるパーソナリティ検査について説明したものである。このパーソナリティ測定法の名称として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

左右対称のインクのしみ 10 枚が何に見えるかを回答させ、反応領域、反応決定因、反応内容、反応の質の四つの観点からパーソナリティを捉える。このテストは幼児から成人まで適用される。

- ア ミネソタ多面人格目録(MMPI)
- イ ロールシャッハ・テスト
- ウ 絵画統覚検査(TAT)
- エ 内田クレペリン精神作業検査

問20 次の文章は、「教育振興基本計画」(令和 5 年 6 月 16 日閣議決定)の「Ⅱ 今後の教育政策に関する基本的な方針」からの抜粋である。文章中の空欄 ①, ② に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

上述の我が国の教育をめぐる現状・課題・展望を踏まえ、本計画では 2040 年以降の社会を見据えた教育政策におけるコンセプトとも言うべき総括的な基本方針として「① の育成」及び「日本社会に根差した ② の向上」を掲げる。両者は今後我が国が目指すべき社会及び個人の在り様として重要な概念であり、これらの相互循環的な実現に向けた取組が進められるよう教育政策を講じていくことが必要である。

- | | |
|---------------|----------|
| ① | ② |
| ア 持続可能な社会の創り手 | ウェルフェア |
| イ エージェンシー | ウェルフェア |
| ウ 持続可能な社会の創り手 | ウェルビーイング |
| エ エージェンシー | ウェルビーイング |